

【庁議結果_HP版】

区 分	内 容
会 議 名	令和元年度 第16回庁議
日 時	令和元11月5日（火）午前9時00分から午前9時50分まで
場 所	庁議室
件 名	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 市長奨励賞及び善行賞に係る活動状況等調査について（総務部）</p> <p>(2) 投票所入場券のデザイン変更について（総務部）</p> <p>(3) RPA活用可能性のある業務等に関する講習会及びアンケートの実施について（政策部）</p> <p>(4) 日赤跡地生涯活躍のまちに係る基本計画（案）について （都市計画部）</p> <p>(5) 「まえばし学校フェスタ2019」の開催について （教育委員会事務局）</p> <p>(6) 成年年齢引き下げ後の「前橋市成人祝」の対象年齢について （教育委員会事務局）</p> <p>【その他】</p> <p>(1) 新設道の駅の事業認定について（建設部）</p>
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 市長奨励賞及び善行賞に係る活動状況等調査について（総務部） 総務部より資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(2) 投票所入場券のデザイン変更について（総務部） 総務部より資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(3) RPA活用可能性のある業務等に関する講習会及びアンケートの実施について （政策部） 政策部より資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(4) 日赤跡地生涯活躍のまちに係る基本計画（案）について（都市計画部） 都市計画部より説明あり。</p> <p>(5) 「まえばし学校フェスタ2019」の開催について（教育委員会事務局） 教育委員会事務局より資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(6) 成年年齢引き下げ後の「前橋市成人祝」の対象年齢について（教育委員会事務局）</p>	

教育委員会事務局より資料に基づき説明
※詳細については、添付ファイルを参照のこと。

【質疑等】

(1) 市長奨励賞及び善行賞に係る活動状況等調査について（総務部）

《市長》

これは、自己推薦は可能なのか。

《総務部長》

基本は所属長からの推薦である。

《市長》

自分から「こんなことをした」という積極性があってもよいのではないか。

(2) 投票所入場券のデザイン変更について（総務部）

《市長》

ユニバーサルデザインになっているのか。

《総務部長》

そうである。

《市長》

入場券を持って行くのを忘れても、期日前投票はできるのか。

《総務部長》

できるが、別紙で用意している宣誓書を書いてもらうことになる。この入場券に書いてお持ちいただければ、すぐに投票できる。

《市長》

選挙管理委員会の議論を経て、これに変わったということか。

《総務部長》

そうである。

**(3) RPA活用可能性のある業務等に関する講習会及びアンケートの実施について
（政策部）**

《市長》

RPA・OCRは実は難しく、過渡期の1スタイルである。今は帳票が紙だから手入力からOCR入力にしていこうということである。例えば、5年後、全ての帳票が電子帳票になってしまえば、OCR自体の必要性もなくなるということである。しかし、私たちのルーティンワークが残るということは事実なので、RPA・OCR化を進めたいと願っている。職員がパソコンの前でただ紙の帳票を入力するという作業は、私たちがやる

べきことではない。このRPA・OCRを進めていただき、もっと皆さんに生産性の高い、クリエイティビティの高い仕事をしてもらいたいと常に思っている。

一方、私たちのところには、市民や企業から様々な帳票、健康保険やレセプトデータ、申請書などが提出されるが、それらは、提出する主体によって様式が異なる場合がある。この様式の統一をやっていただかないと、ロボットの方では処理できなくなる。OCRでは処理できないということである。そういう啓発も含めながら、前橋市全体が生産性の高い社会になっていくというメッセージを、もう少し大きく出していかないといけないと思う。

RPA・OCRについて庁内アンケートをするということだが、できれば私たちの庁内業務の改善だけではなく、前橋市という社会全体を変えるという視点を持っていただきたい。このアンケートでは、私たちの庁内業務のRPA・OCR化が中心になっているが、私たちの外のパートナーとの文書のやりとりも、RPA・OCR化の議論をしてほしいと思っている。この点は、通知に書き込まれていないのか。

《情報政策担当部長》

今回はそこまでではなく、あくまでも庁内のRPA化である。色々な業務に関する帳票の統一化を外に向けて行うことによって効率化が図られるという点は、市長のおっしゃるとおりである。

《総務部長》

今やろうとしているのはどのようなことか。

《情報政策担当部長》

行政管理課と相談した上でお声がけしているのは、税関係や子育て関係の部署である。

《総務部長》

具体的にはどのようなものか。法人情報等の入力などか。

《情報政策担当部長》

そうである。季節的に業務量が増えるところをターゲットにお声がけしている。

《市長》

特別徴収税は、ほとんど同一帳票になっているのではないか。

《財務部長》

特別徴収は帳票がバラバラのようである。今後はそれを統一していくことで、効率が良くなると思う。軽自動車や償却資産などの税金は帳票が統一されているので、RPA・OCRを導入しやすいと思う。

《市長》

OCRは、枠の中の字が大きい・小さいなどは読めるが、属性データがバラバラだと

読めない。極端に言えば、政府が、それぞれのプロセスをつくっているベンダーに対して、OCRで読み込めるような一定の基準をつくり、示す必要があるのではないか。例えば、医療系ソフトは、各社で仕様が全部違っていて病院間の連携が上手くできない問題があるが、これはそのあたりのデザインのミスだと思う。

悩ましい課題や気づきは、情報政策担当部長や総務部長に連絡していただくということで積極的に取り組んでいただきたい。皆さんと一緒に協力しながら進んでまいりたい。

(6) 成年年齢引き下げ後の「前橋市成人祝」の対象年齢について（教育委員会事務局）

《市長》

18歳で成人祝賀行事を行う市町村もあるということか。

《指導担当次長》

そうである。全国的な調査によると、僅かだがいくつかある。

《市長》

大勢は20歳でいくということか。そうであるならば、20歳が慣例になっているのだから教育委員会の判断で結構だと思う。

【その他】

(1) 新設道の駅の事業認定について（建設部）

《建設部長》

新設道の駅整備に関して、11月5日付の県報で、土地収用法第20条の規定に基づく事業認定がされた旨が告示された。これにより、土地収用法、その他公共事業に準ずる扱いで事業を進めていけるという基盤ができあがった。今後のスケジュールとしては、現在、土地買収の説明会が終わり、12月には土地買収の全体の契約をする。その後、文化財調査等が入り、事業が進んでいく。

以上

* 今後の庁議開催予定

開催日	開催時間	場所
11月19日（火）	午前8時45分	庁議室
12月4日（水）	午後2時00分	庁議室
12月17日（火）	午前8時45分	庁議室

11月の定例記者会見は、12日（火）午後2時00分から
26日（火）午後2時00分から開催します。